

平成29年度 決算状況

単位：百万円

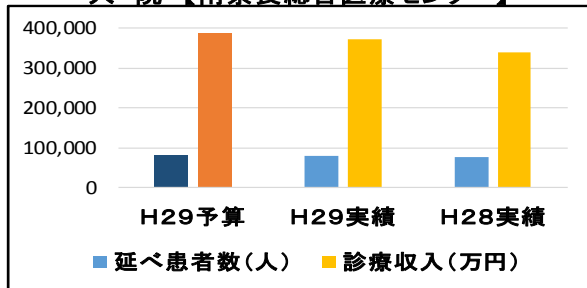
項 目		中期計画 29年度 収支計画	平成29年度決算			
			企業団 (計)	南奈良総合 医療センター	吉野病院	五條病院
収入	医業収益	8,089	7,465	5,942	1,166	357
	医業外収益	1,449	1,494	1,358	66	70
	経常収益	9,538	8,959	7,300	1,232	427
支出	医業費用	9,448	9,023	7,178	1,117	728
	医業外費用	387	205	205	0	0
	経常費用	9,835	9,228	7,383	1,117	728
経常損益		△ 297	△ 269	△ 83	115	△ 301
特別損失		△ 10	△ 4	△ 4	0	0
純損益		△ 307	△ 273	△ 87	115	△ 301

※看護師養成事業を含む

- 企業団の平成29年度の純損益は、2億7千3百万円の赤字となっています。
- 中期計画による収支と比べると、医業収益などの収入で約5億8千万円少ないものの、医業費用などの支出も約6億1千万円少なくなっているため、純損益の赤字額が約3千万円少なくなっています。
- 医業収益は、企業団全体で平成28年度より10億1千1百万円の増加となっています。
- 医業費用は、南奈良総合医療センター等の医療機器及び医療情報システムの保守点検業務委託の開始による費用増、五條病院の開院に伴う職員給与費の増により、企業団全体で平成28年度より9億9千2百万円の増加となっています。
- 南奈良総合医療センター及び吉野病院では、ある程度収支差の改善が見られましたが、五條病院については、リニューアルオープンして1年目のこともあり、赤字額が大きくなっています。

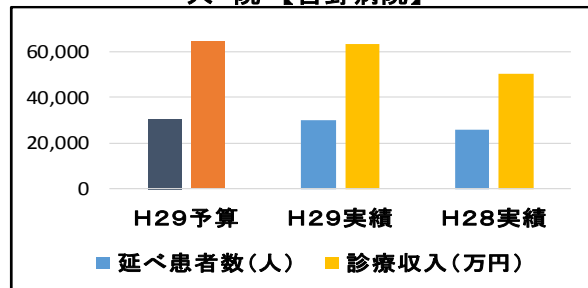
平成29年度 稼働状況

入院【南奈良総合医療センター】



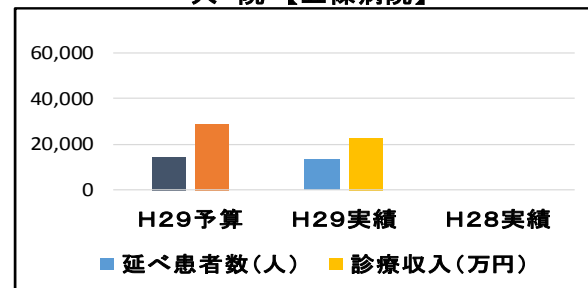
南奈良総合医療センター	H29予算	H29実績	H28実績
延べ患者数(人)	80,300	80,621	75,199
1日平均患者数(人)	220	221	206
病床稼働率(人)	94.8%	95.2%	88.8%
診療収入(万円)	385,440	372,314	337,787
診療単価(円)	48,000	46,182	44,919

入院【吉野病院】



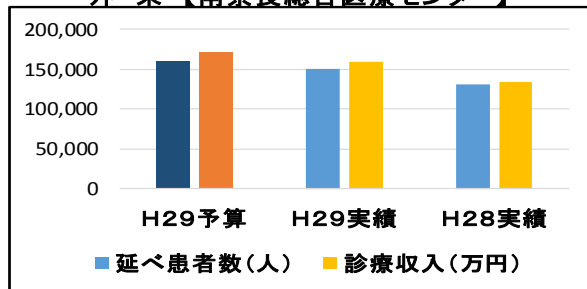
吉野病院	H29予算	H29実績	H28実績
延べ患者数(人)	30,660	30,266	25,679
1日平均患者数(人)	84	83	70
病床稼働率(人)	87.5%	86.4%	73.3%
診療収入(万円)	64,386	63,432	50,647
診療単価(円)	21,000	20,958	19,723

入院【五條病院】



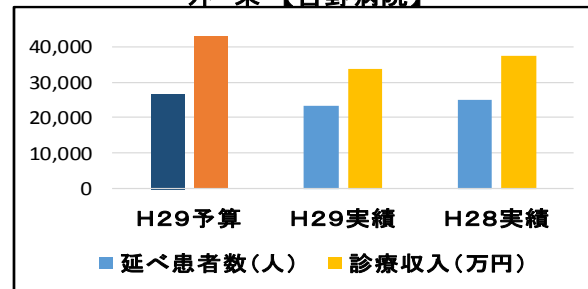
五條病院	H29予算	H29実績	H28実績
延べ患者数(人)	14,235	13,118	11,118
1日平均患者数(人)	39	36	31
病床稼働率(人)	86.7%	79.9%	70.0%
診療収入(万円)	29,025	22,682	17,291
診療単価(円)	20,390	17,291	15,623

外来【南奈良総合医療センター】



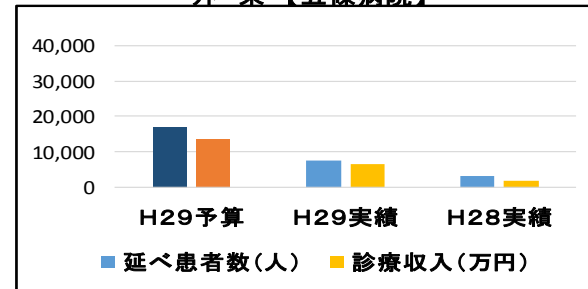
南奈良総合医療センター	H29予算	H29実績	H28実績
延べ患者数(人)	158,600	150,686	130,660
1日平均患者数(人)	650	618	540
診療収入(万円)	171,288	159,701	134,024
診療単価(円)	10,800	10,598	10,257

外来【吉野病院】



吉野病院	H29予算	H29実績	H28実績
延べ患者数(人)	26,840	23,326	24,896
1日平均患者数(人)	110	96	103
診療収入(万円)	42,944	33,846	37,549
診療単価(円)	16,000	14,510	15,082

外来【五條病院】



五條病院	H29予算	H29実績	H28実績
延べ患者数(人)	17,080	7,497	3,336
1日平均患者数(人)	70	31	14
診療収入(万円)	13,664	6,393	1,831
診療単価(円)	8,000	8,527	5,488

- 南奈良総合医療センターの平均病床稼働率は、95.2%と高稼働率を維持、1日平均外来患者数は618人と、平成28年度と比べ、延べ入院患者数は7.2%増、延べ外来患者数は15.3%増となっています。
- 吉野病院は、平均病床稼働率 86.4%、1日平均外来患者数 96人と、平成28年度と比べ、延べ入院患者数は17.9%増加しているものの、延べ外来患者数は、6.3%減少しています。
- 五條病院は、リニューアルオープンして1年目のこともあり、平均病床稼働率 79.9%、1日平均外来患者数 31人と、平成29年度予算に対し、延べ入院患者数は予算値の92.2%、延べ外来患者数は予算値の43.9%となっています。

1 経営の安定化

①純損益赤字の解消

経営の安定化を図るため、純損益赤字の解消をめざします。

【取組】

運営委員会や定例会において、毎月経営分析状況に関する資料を提示し、企業団職員の経営に関する意識を高めていきます。

<H30年度 患者数等の目標(予算値)>

		南奈良総合 医療センター	吉野病院	五條病院
入院	1日平均患者数 (人)	222 (221)	86 (83)	59 (36)
	病床稼働率 (%)	95.7 (95.2)	90.0 (86.4)	90.8 (79.9)
	診療単価 (円)	49,000 (46,182)	21,000 (20,958)	20,000 (17,291)
外来	1日平均患者数 (人)	680 (618)	110 (96)	70 (31)
	診療単価 (円)	11,500 (10,598)	15,000 (14,510)	9,000 (8,527)

※()内はH29年度実績値

②救急患者の受入れと3病院の一体的かつ効率的な病床運用

【課題】

- ①南奈良総合医療センターにおける積極的な救急患者の受入継続
- ②吉野病院・五條病院の病床の効率的な稼働を確保
南奈良総合医療センターの急性期を過ぎた患者のスムーズな吉野病院、五條病院の転院を図り、南奈良総合医療センターの空床を確保する必要があります。

【取組】

- ①3病院の地域医療連携室の運用方法の変更等
 - ・南奈良総合医療センターの地域医療連携室が、3病院の地域医療連携室を統括し、3病院の病床を一体と考えた病床運用を行います。
 - ・診療情報管理士と地域医療連携室とが情報を共有し、適切な転院を促します。
- ②各病院の機能についての患者・家族への事前の周知の徹底

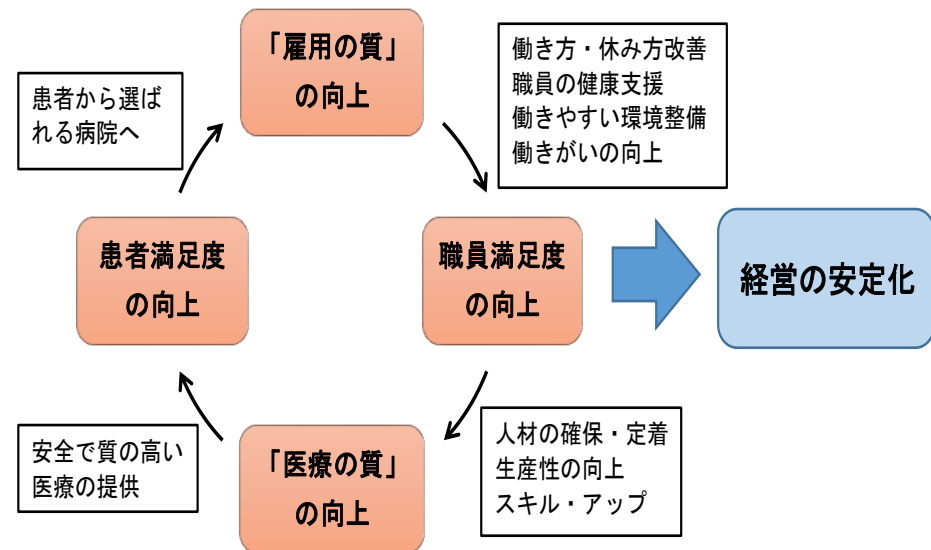
③五條病院の機能充実と経営改善

- ①外来診療機能の充実(患者数の増加対策)
 - ・皮膚科等他科外来の追加検討
 - ・近隣急性期病院や診療所等との連携による紹介患者の確保
 - ・住民に向けた再度の五條病院の案内・周知
患者向けリーフレットの作成
病院ロビーを活用した住民向け健康教室等の実施 など
- ②入院診療機能の充実と収益確保
 - ・地域一般入院料1(看護職員配置13:1)の施設基準取得
 - ・地域包括ケア病床の運用開始

④その他経営向上に向けての取り組み

「働き方改革」

- ・働き方改革推進委員会の設置
- ・タスクシフティングやタスクシェアリングをはじめとする取組を推進します。



2 医療の質の向上

① 専門診療の充実・向上

<専門性を活かした質の高い医療の提供>

地域の医療ニーズに応じた専門性を発揮するため、各診療科が実施している専門診療を広く紹介し、地域医療機関等との連携強化などを図りながら、良質で最適な医療を提供するとともに、消化器(胃・肝臓・大腸など)がん、肺がんなどのがん診療、末梢動脈疾患カテーテル治療、t-PA(血栓溶解療法)、体外衝撃波結石破碎術(ESWL)などの専門診療の充実・向上に取り組みます。

<チーム医療の充実>

栄養サポート、院内感染防止、糖尿病、慢性腎臓病、褥瘡、嚥下摂食管理、循環器サポート、認知症ケアなどチーム医療の充実に取り組みます。

② 回復期・慢性期医療の充実

- 企業団3病院が連携し、南奈良総合医療センターの急性期を過ぎた回復期・慢性期患者の吉野、五條病院へのスムーズな転院促進を図ります。
- 五條病院での療養病棟及び地域包括ケア病床の運用を開始します。
- 吉野病院での地域医療機関等からの地域包括ケア病床への積極的な受入に取り組みます。

③ 地域医療の充実に向けた対応の強化

住み慣れた地域で、安心して住み続けられるよう地域の医療機関との連携強化に取り組みます。

<地域の医療機関等との連携>

企業団3病院と地域の医療機関との連携による地域医療提供体制の充実を図ります。

南奈良総合医療センターでは、CT・MRI検査の開業医からの直接予約実施など紹介率の向上等に取り組みます。

<へき地診療所の支援、連携>

ICT活用によるカルテ情報の共有、遠隔TVカンファレンスの実施など、へき地診療所への支援、連携に取り組みます。

<在宅医療の推進>

増大する在宅医療ニーズに対応できるよう、医師・看護師の訪問診療体制を強化し、効果的・効率的で質の高い訪問診療、訪問看護や看取りの推進に取り組みます。

3 患者サービスの充実

「笑顔と感謝にあふれる病院」をめざし、患者さんをはじめ、来院される方へのサービス向上に努めます。

<相談窓口の充実>

- 多様な医療相談に対応できる患者相談支援センターの設置

<情報発信の充実>

- 院内掲示や広報誌「はびねすだより」等による地域住民への広報
- 健康フェスティバルの開催、健康出前講座等への職員派遣

<患者対応等>

- 入院案内に各病院の機能等を記載し、入院時の丁寧な説明
- 脳波検査、MRI検査の予約待ち日数の短縮(南奈良総合医療センター)、採血・心電図検査の待ち時間の短縮(吉野・五條病院)

4 人材の育成

地域の方に良質で最適な医療の提供を行うため、地域医療を支える人材の育成に取り組むとともに、職員のスキルアップを図ります。

<研修医等の受入>

- 基幹型臨床研修病院として、H31年度受入研修医の募集
- 協力型臨床研修病院としての研修生受入以外に、後期研修、専門医研修、医学生研修について、積極的に教育支援を実施(H30年度受入予定)専門医研修 3名
協力型臨床研修(たすき掛け研修) 5名
地域医療研修7名

<看護職者の育成>

- 看護専門学校での授業の一環として、へき地での地域交流、大淀養護学校児童との交流を実施します。

<職員のスキルアップ>

- 管理職のマネジメント力を向上させるため、マネジメント研修を実施します。